



SDGsプログラム実施レポート No.14 「海の豊かさを守ろう」



海が汚れると、生きものだけではなく人間にも影響があるんだ。
みんなの生活に繋がっている海には、今どんな問題があるのだろう。
わたしたちにできることはどんなことがあるのかをみんなで考えました。

子どもたちが感じたことや感想など

1年生

- ・プラスチックで魚が死んでいるのは知らなかった
- ・海のごみがたくさんあってびっくりした

2年生

- ・魚を獲りすぎないようにする
- ・海や川で釣りをする時は、小さい魚を返してあげる
- ・海や川に行く時は、ゴミ袋を持って行き、ゴミ拾いをする

3年生

- ・魚がゴミを食べてしまったら、結局は私たちが食べるから魚にとっても人間にとっても悪影響だなと思った

4年生

- ・ポイ捨てをしないことと、公園などに落ちているゴミを拾って捨てる

その他、二酸化炭素を減らしてホッキョクグマを死なせないようにする、網にウミガメが掛かってしまうのはかわいそうだ、マイクロプラスチックが人間にも影響するのが怖いし、どうなるかが知りたいといった感想や意見があった。



海の生きものをとりすぎ
しいけないとたの
とおもいました



職員の感想

減らさなければいけないと言われ続けている二酸化炭素ですが、これが無いと地球の表面温度はマイナス19℃になると知り、子どもたちと一緒に驚きました。以前は「具体的な行動って難しい」と言う子が多かったのですが、今回は「〇〇すると良いよ!」「〇〇するのはどう?」等、具体的な行動案が沢山挙げられ、子どもたちの知識が増えて言っているのだと感じました。